”農地・水・環境保全”
水土里のネットワーク通信

＜ 第 34 号 ＞
２０１０．８．１発行
島根県農地･水･環境保全協議会

ふるさとを再発見するきっかけづくり（地域住民等との交流活動）

地域内外の人達と交流を行うことにより、多くの方々に農村の生態系や景観等の環境及び農用地・農業用水の保全活動に関心を持ってもらうことができます。

県内でも自分たちの住む地域をウォーキングコースにして交流活動を広げている活動組織がありますのでご紹介します。

「あじさいウォーク」

活動組織名：下高野地域保全会（津和野町）

今年のあじさいは２回の霜により新芽が被害を受け、花が咲くかどうか危ぶまれていましたが、遅くなって花芽も付き、例年ほどではありませんが花も咲きましたので、７月８日に“第３回あじさいウォーク”を開催しました。

当日は小学校児童、保育園児、ふれあいの場の高齢者（畑迫地区高齢者の集い）、地区外の方や地域保全会を含め約６０名の参加があり、世代、地域を越えた交流を深めることが出来ました。

ウォーキングコースは、自分の体力にあった１．５㎞、４㎞のコースがあり、あじさいをはじめとした「下高野の農村風景」を楽しんでもらうコースにしています。

また、参加人数はあまり多くはありませんが、児童や保育園児による歌、踊り、学習のミニ発表会もあり、招待したふれあいの場の高齢者の皆さんにも楽しんでいただけたと思います。無料サービスのおしるこを「おいしい」と何杯もお代わりする方もおられ大変喜ばれました。

下高野集落は、１５世帯４６名の小さな集落です。以前から桜やスイセンを植えて環境の美化に取組んでいましたが、平成１６年度に町の補助を受けてあじさい１０００株の植栽を行い、以降毎年挿し木苗を育てて植栽や補植を続け、今では約２０００株になりました。

植栽の動機は、“畦畔の草刈りが軽減出来るのではないか”と言うことで、先進地の視察をして植栽をすることにしました。あじさいも大きくなるにつれて草刈りは楽になりましたが、花殻摘みなど新たな管理が必要となり負担となっています。

しかし、大輪の花が咲き、農地・水・環境向上対策への取組を契機に「あじさいウォーク」を開催し、地元の人はもとより町内外からも見に来られる人も増えてきて、管理する者の励みになっています。

これからも畦畔の管理等にも十分注意し、集落の環境保全に努めていきたいと思います。

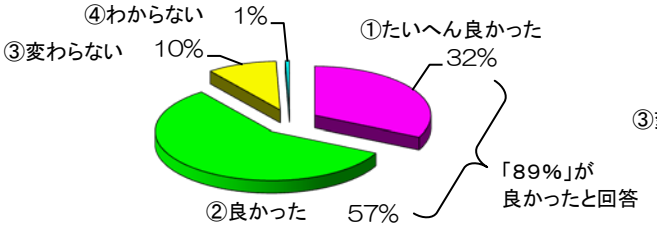
速報 “活動組織アンケート調査結果”

約9割が対策に取組んで「たいへん良かった」「良かった」と回答

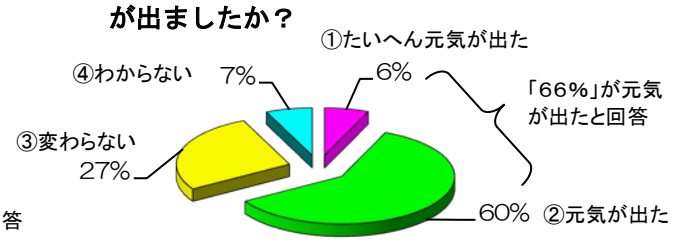
本対策も４年目となり、共同活動による効果等を検証し、国の中間評価、県の第三者委員会への資料とするため、６月のネットワーク通信の送付に併せ全活動組織(４８６組織)を対象にアンケートを依頼したところ、３５１組織（７２%）から回答を頂きました。

（問１）「対策に取組んで良かったですか？」との問いには、９割近い組織から「たいへん良かった」「良かった」との評価があり、地域の活性化に果たした役割（問２）、非農業者の参加（問３）、環境に対する意識の向上（問４）もそれぞれ高率の評価でした。

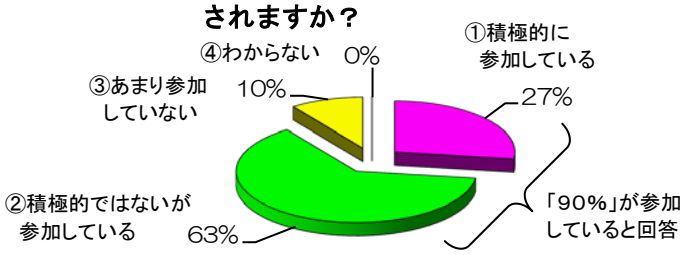
（問１）対策に取組んで良かったですか？



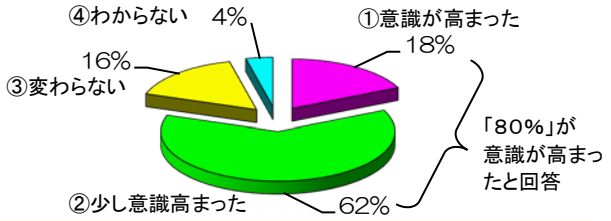
（問２）対策に取組んで地域（集落）に元気が出ましたか？



（問３）農家以外の方は活動に積極的に参加されますか？



（問４）地域の皆さんに環境保全や景観に対して意識の変化はありますか？

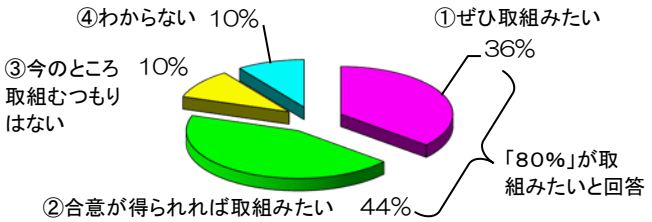


次期対策にも8割の組織が取組む意向

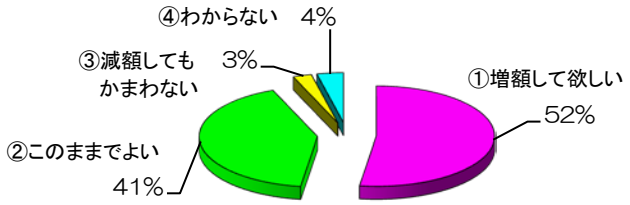
仮に、第２期対策が継続した場合として、（問５）から（問８）の設問を設けました。結果は、８割の組織から「継続する」旨の回答がありましたが、１割の組織からは「今のところ取組むつもりはない」との意向が示されました。この理由（問７）としては、事務や活動の担い手に困っていらっしゃる現状が伺えました。

その他に（問８）「新たに支援してほしい活動」として、地域コミュニティーの拠点である「集会所等での共同活動」が高い割合で回答されました。

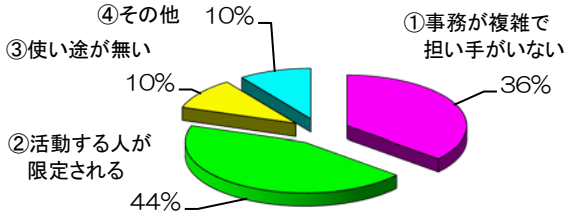
（問５）仮に、対策が継続した場合、第２期対策に取組みますか？



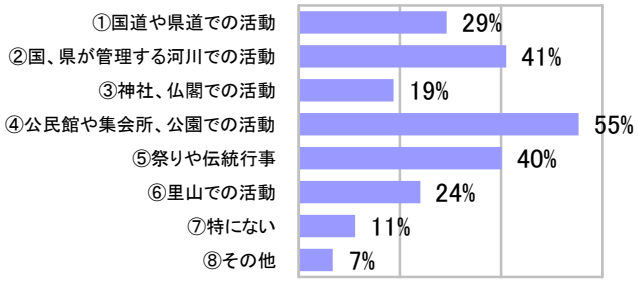
（問６）【問５で①、②を回答された方】第２期対策の交付金の額は？



（問７）【問５で③を回答された方】第２期対策に取組まない理由をお答え下さい。



（問８）本対策で新たに支援してほしい活動は何ですか？（複数回答可）



県協議会では、このアンケート調査結果をさらに分析し、国等への要望活動の重要な資料として活用して参ります。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

活動のポイント

夏休みを利用して、子供たちが自分の住んでいる地域に興味を持つような活動を考えてみてはどうでしょう！

★ふるさとの自然や生き物の観察会（生物の生息状況の把握）
★地域を見回りゴミマップ等の作成（啓発活動）
★農村景観の写生会及びその展示（広報・啓発活動）
★手作りのポスター、看板作り（標語を募集しても面白いですね）（広報活動）　など

カバープランツで“和”を広げませんか!?

～カバープランツ研修地募集中～

協議会では、カバープランツの植栽研修会会場の受け入れ地を募集しています。
“自分たちの地元で研修会を！”と思われる活動組織の方は、下記を参考に是非ご一報ください。

現地実習内容

農道又は水路法面約１００㎡へ防草シートを張り、ヒメイワダレ草を植栽します。

候補地の条件

①時期：１０月頃
②場所：農道及び水路法面で圃場整備後間もないところ、又は今秋カバープランツを予定しており除草等を実施しているところ
③植栽面積　法面１００㎡程度（高さ 1m×延長 100m）、両脇法面なら延長 50m
④できれば近隣に室内研修会場（１００名程度収容可能な室内研修会場）、及び駐車スペースがあるところ

ヒメイワダレソウ開花時
（荒茅東活動組織）

その他

・植栽後は活動組織での管理をお願いします。
・当日は１００名程度の往来があるため近隣のご理解とご協力が得られるところ。
・事前及び研修当日にお手伝い、ご協力をお願いすることもあります。

経費

・研修会に係る苗代は活動組織で負担をお願いします。
・シート代等一部資材代については、協議会で負担します。（その他必要があるときは別途相談します）

※詳細は下記へお問い合わせください。

水土里ネット島根　水土里推進グループ
資源保全担当　勝部・深田
ＴＥＬ0852-32-4144　　ＦＡＸ0852-24-0848

なお、応募多数の場合、諸条件を検討のうえ決定させて頂きますので、ご希望に添えないことがありますことをご了承ください。

締め切り：平成２２年８月２０日

★お知らせ★

今回のネットワーク通信に同封しているチラシをご覧になり、“ 私たちの活動も”という方は応募してください。

◎「田園自然再生活動コンクール」応募団体募集　　締切８月　６日（金）
◎平成２２年度しまね『環境農業』大賞募集　　締切８月３１日（火）

★今月の予定★

２（月）～３（火）	平成２１年度実施状況確認・相談会（江津市）	２３（月）	平成２１年度実施状況確認・相談会（知夫村）
３（火）～５（木）	平成２１年度実施状況確認・相談会（益田市）	２４（火）	平成２１年度実施状況確認・相談会（西ノ島町・海士町）
９（水）	平成２１年度実施状況確認・相談会（邑南町）	２５（水）	平成２１年度実施状況確認・相談会（川本町）
１９（木）～２０（金）	平成２１年度実施状況確認・相談会（大田市）	３１（火）～9／1（水）	中国四国農政局との意見交換会（飯南町）
２３（月）～２４（火）	平成２１年度実施状況確認・相談会（美郷町）		

ちょっと一息
おたよりコーナー

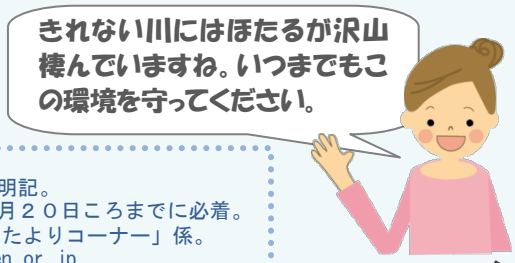
なつかしさを運ぶ“ほたるの舞”

湯屋谷川ほたる祭り（出雲市鳶巣環境保全協議会）に参加されたA.Iさん（出雲市）よりお便りが届きました

ネットワーク通信32号で紹介されていた「湯屋谷川ほたる祭り」に行ってきました。

竹細工での灯籠や手作りのほたるの模型など、祭りの雰囲気作りがとても良かったです。

「ほたるの生息環境」に繋がる「水の大切さ」をボーイスカウトの子供たちが紙芝居で発表したのには感心しました。ほたるの乱舞を見て子供の頃を思い出しました。



【投稿規定】

郵便番号、住所、氏名、電話番号、組織の方ならば活動組織名を明記。
郵便、ファックス、メール、電話での投稿。次号への掲載は、前月２０日ころまでに必着。
宛先は、〒690-0876 松江市黒田町 432-1　水土里ネット島根「おたよりコーナー」係。
FAX 番号（0852）24-0848、電子メール shigenhozen@shimanedoren.or.jp

～農地・水・環境保全向上対策に関することは！～

◆島根県農地・水・環境保全協議会まで
〔事務局〕水土里ネット島根　Tel0852-32-4144　Fax0852-24-0848
http://www.nouchimizu-shimane.jp
◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ（共同活動）　Tel0852-22-6262
〃　農畜産振興課有機農業グループ（営農活動）　Tel0852-22-6477
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/
◆又は県内各農林振興センター、最寄りの各市町村担当課までお問合わせ下さい。